

## 第27回 DAAS運営委員会

□日 時:2014年8月28日(木) 13:00~14:30(予定)

□場所:ソーシャルインキュベーションオフィスSUMIDA セミナー室

〒100-0014 東京都墨田区本所 3-15-5 1階

Tel: 050-3786-0568

□議案:

### [報告事項]

「DAAS運営基盤の安定化検討WG」検討内容の経過報告

〈資料 1~3〉

まちなみ景観事例の収集・情報提供活動事業実施について

〈資料 4〉

### [検討事項]

運営委員長の交代について

□資料

資料1 -「DAAS運営基盤の安定化検討WG」検討内容と経過報告

資料2 - DAAS事務局移転と支援について

資料3 - DAAS収支シミュレーションについて

資料4 -まちなみ景観事例の収集・情報提供活動事業(技術資料の収集)事業の実施について

〈資料 1〉

## 「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」検討内容と経過報告

「運営基盤の安定化」と DAAS の法人格取得も視野に入れた対応策の集中討議を首件 WG について実施。運営委員会からの意見を WG へ反映し、最終成果は運営委員会での承認を得て取りまとめる予定。WG の検討内容と経過について報告する。

### 日程および工程表(案)

- ・日 程:WG 設置より平成 26 年 9 月 31 日まで(follow up として10月も予定)
- ・工程表:下表のとおり(WG 開催回数は5~6回程度を予定)

調査検討項目	2013-2014 年度			
	1~3 月	4~6 月	7~9 月	
1. DAAS 運営現状の把握と検証 ①収支状況の整理 ②基礎的活動コストの精査 ③DAAS メリットの明確化	---			
2. 法人格に係る調査 ①各種法人格の特徴整理 ②DAAS が目指すべき法人格	---	—		
3. 統合・連携等の可能性がある他機関情報の整理 ①各機関リストアップ ②各機関の情報・特徴	—	—		
4. DAAS 経営・組織モデルの検討 ①検討対象組織モデル種類と理由		—	—	
5. DAAS の運営基盤安定化策まとめ			—	
WG 開催	○ ○	○ ○	○ ○	○ (followup)
運営委員会開催	●		● ●	

### 実施状況

2013 年 7 月 30 日: 国土交通省にて DAAS の今後について打合せを行い WG の設置を提案  
(第 8 期事業計画に含める事を検討)

2013 年 10 月 9 日: 第 8 期事業計画 WG 設置に関する打合せを実施(事務局内)

2013 年 10 月 24 日: DAAS 第 8 期総会の開催(事業計画の承認)

2013 年 12 月 26 日: WG 始動に向けてメンバー・スケジュール等の検討の為、準備会実施

2014 年 1 月 24 日: DAAS 第 26 回運営委員会にて WG の企画書及びメンバー案を提案(承認)

2014 年 2 月 20 日: 第 1 回「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」開催

2014 年 4 月 23 日: 第 2 回「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」開催

(2014 年 3 月): 国土交通省より建築技術教育普及センターによる DAAS 事務局支援の連絡

2014 年 5 月 21 日及び 2014 年 7 月 4 日:

国土交通省 原田企画専門官と今後の DAAS について打合せ

2014 年 8 月 28 日: 第 3 回「DAAS 運営基盤の安定化検討 WG」開催

2014 年 8 月 28 日: DAAS 第 27 回運営委員会にて経過報告

## WG 検討内容

### (1)検討事項(案)

#### 1.DAAS の現状把握

- ①設立から現在までの収支状況概要
- ②DAAS の基礎的活動に要する経費の精査と明確化
- ③対外的に説明可能な DAAS メリットの明確化 等

#### 2.法人格種類と特徴等について

- ①各種法人格(NPO 法人、一般社団法人等)の特徴等に関する整理
- ②DAAS が目指すべき法人格の検討

#### 3.統合・連携等の可能性がある他機関情報

- ①今までに意見交換を実施してきた各機関(リストアップ)
- ②各機関の情報・特徴

#### 4.DAAS 組織モデルの検討

- ①検討可能な組織モデルの種類とその理由

#### 5.DAAS の運営基盤安定化策まとめ

(4. の検討から、関係機関等との具体的統合・連携へ向けた必要タスク、想定課題等をまとめる = 最終成果イメージ)

### (2)検討成果

- ・検討成果をとりまとめた概要版 および 報告書一式

## DAAS 事務局移転と支援について

国土交通省住宅局建築指導課との調整により、DAAS 事務局を公益財団法人建築技術教育普及センター（以下、「普及センター」）のフロア内（千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル3階）に移転することとなった。また、これまでに普及センター、国交省（原田企画専門官）等との打合せにより確認した DAAS に対する支援内容は以下のとおりである。

### （1）普及センターの支援内容

事務所賃料、会議室借上料、光熱費、総務及び経理業務の支援が中心。概要は以下

#### （ア） DAAS事務局の設置

- ① DAAS事務局を普及センター内に設置（10月に移転完了の予定）
- ② ただし、普及センターがDAAS事務局を引き受けるものではない。DAASは任意団体として従前どおり存続。
- ③ 床を又貸しする方式はとらない。（コンプライアンス上の理由による。）

#### （イ） 財政支援

- ① DAASの会計は普及センターと区分（普及センターの予算・決算の範囲外）。
- ② 賃料等の負担はDAASに求めない。消耗品等の実費は区分可能な限りにおいて区分管理することを基本として運営する。
- ③ DAAS事務局の現職員は、普及センターの嘱託（1年更新）とし、DAASに出向の形とする。給与等は現行の水準のままでし、普及センターの給与体系等とは独立する。社会保険等は普及センター職員と同様に処理する。（コンプライアンス上の理由による。）
- ④ 人件費、法定福利費等は、派遣協定による人件費負担としてDAASで負担。

#### （ウ） 人的支援

- ① DAAS業務には原則として普及センターの職員は関与しない。
- ② ただし、経理事務等の専門的業務については支援を検討するとともに、一時的な人手が必要な場合の提供は行う。

#### （エ） Webサイトに係る契約等

- ① Webサイト、DB、電話等は当面DAASの現契約をそのまま維持することを基本とし、普及センターの回線とは独立した形でプロバイダ等と契約する

### 参考1: DAAS 法人化に対する普及センター内の認識

- ・(DAAS が) 法人化するかどうかは、国交省、DAAS の判断事項。センターは、法人化に賛成あるいは反対するという立場ではない。
- ただし、登記簿上の所在地をセンターと同一(紀尾井町3-6)とすることは不可。賃貸床の又貸しになることなど、センターのコンプライアンス上の問題が生じるため

### 参考2) DAASが普及センターに支援を希望する内容(要確認事項)等

- ・DAAS が任意団体のままである場合、DAAS としての外部との契約等締結について、普及センターに協力依頼が可能か(例えば、任意団体 DAAS にかわり、普及センターが契約主体となる、等)。
- ・普及センターによる DAAS 支援の位置づけとの関連として、普及センターが DAAS に期待する活動、要望等の有無
- ・近い将来、DAAS が法人格を得る(一般社団法人が選択肢として濃厚)ことについて、国交省としての意見はどうか。また、DAAS の法人格取得に際し、必要な支援、組織運営の関与等を期待したいことについて、普及センターとの調整の余地はあるか

### 参考3: 国交省内における今後のDAASのあり方に関する意向確認・議論のまとめ

#### (ア) 統合先の案として

- ① [全般] 学術的、文化的側面の強いDAASの活動としては、文化庁、学術的活動をする機関との連携が現実的か。(文化庁 近現代建築資料館や、建築学会等)。国費が入っている事から、一企業、一大学との統合や連携については、難しいのではないかと考える。
- ② [文化庁 近現代建築資料館] 統合先としてむしろ望ましいと思われる(国交省の協力が必要)。コンテンツ継承と保存はされてゆくが、問題点としては、財産、贈与、コンテンツ収集にあたる著作権処理、そして、資料館が国の機関であるがゆえに、企業会員や会費の受け皿となることは難しく、(継続して会員会費収入により運営費をまかなうとすれば、)コンソーシアム形態を直す必要がある。
- ③ [建築学会] 学会は構造、環境がメイン。歴史・意匠分野は特殊であること、また、権利調整の問題、学会の協賛金にDAASの会費上乗せも難しいのではないか。
- ④ [国土交通省系国立のアーカイブ] 現在縮小方向のため、難しいのではないかと考える。
- ⑤ 教育機関への委託は資金的に難しい側面もある(JIA-KIT建築アーカイブとの連携の場合)

#### (イ) 会費、収益事業について

- ① DAASの事業は収益性が期待出来るものではないと考えている。
- ② 現在企業会員の明確なメリットが出せてない。
- ③ DAASのデータの受益者は学術系ではないか(大学機関)。収益がすぐに見込めない、また受益者とのずれがあるのでは。
- ④ 当面、普及センターの支援により、費用の圧縮を図り、会費減額については下げ幅を小さくし、経費削減などの努力しているとし、会員の理解を得るという方法ではないだろうか。普及センターの支援は現在の所、期限があるということではない。

〈資料 3〉

## DAAS 収支シミュレーションについて

WG では、今後の DAAS が目指す活動の設定と併せ、会費減額をも視野に入れた収支シミュレーションを行っている(今後、WG でさらなる精査が必要)

2014/8/28 WG 参考資料 8

### 1. 現状の支出項目から必須経費と選択経費を整理(項目だし)

#### 〈必須経費〉

##### (1) DAAS-WEB サイト維持・公開必要経費

- (ア) サーバ管理委託費、保守費支出(システム及びデータの保全、管理等外部発注分)
- (イ) SSL 認証経費、DAAS ドメイン経費(Web サイト運営のための費用)
- (ウ) デジマーク使用料(Web サイト掲載時のセキュリティ)

##### (2) 事務局経費

- (ア) 事務所経費(賃料、光熱費等)
- (イ) 会計士外部委託費(会計処理、監査報告書作成費用、月次顧問料)
- (ウ) 専任事務局人件費(法定福利費)、交通費

##### (3) 総会経費

- (ア) 会場借上げ費、飲み物等、その他備品
- (イ) 資料印刷代

##### (4) 委員会、会議等経費

- (ア) 会場借上げ費、飲み物等、その他備品
- (イ) 資料印刷代

#### 〈選択経費〉

##### (5) 各団体受賞作品収蔵・公開経費

- (ア) Web サイトへのアップのための入件費

### 2. DAAS 活動設定(パターンA～D)と、課題等の整理(具体的な数値は別紙参考資料14-2にて)

#### (1) パターン A

##### (ア) 実施方法

- ① 必須項目、選択項目を全て含める
- ② コンテンツ制作を行わない(コンテンツ制作費用の圧縮)
- ③ 補助金がある場合のみ新規コンテンツ制作を行う

##### (イ) 課題

- ① 補助金の継続的な支援で現状と同様のコンテンツ制作も可能(資料の拡充が可能となる)。

**(2) パターン B**

(ア) 実施方法

- ① (2)事務所経費、会計士外部委託費(3)(4)の総会及び運営委員会等の会議費用を削減
  - ② 普及センターの事務所内での登記。シェアオフィスを解約
  - ③ 会計支援、会議使用に関する費用を普及センターに協力要請
- (イ) 課題
- ① 会費収入パターン A の補助金の継続的な支援に加え、普及センターの支援の幅を広げてもらう交渉が必要。

**(3) パターン C**

(ア) 実施方法

- ① 専任事務局員人件費を削減
- ② 全ての事務業務を他団体・企業・機関から支援を得る。
- ③ もしくは他団体の職員の出向と人件費の他団体の支援を依頼
- ④ DAAS の業務自体を他団体に移行

(イ) 課題

- ① 人件費支援、DAAS の業務の移行とも協力団体、協力企業等の要請が必要  
(国交省からの要請等による)※ただし、現状の DAAS 人件費と同等での職員派遣は難しい。

**(4) パターン D**

(ア) 実施方法

- ① サーバ維持のための外部委託費用、発注及び(5)の表彰事業の収蔵業務のみを行う(人件費も最小限とするため、事務派遣等で負担した場合で算出)
- ② 会費収入パターン C と同様に、他団体の人件費支援、業務の移行等が必須

(イ) 課題

- ① 人件費支援、DAAS の業務の移行とも協力団体、協力企業等の要請が必要  
(国交省からの要請等による)※ただし、現状の DAAS 人件費と同等での職員派遣は難しい。

## 〈資料 4〉

### まちなみ景観事例の収集・情報提供活動事業(技術資料の収集)事業の実施について

平成25年度と同様に、平成26年度も「まちなみ景観事例の収集・情報提供活動事業(技術資料の収集)」の費用支援を受ける事となり、第9期に DAAS のオリジナルコンテンツ制作を実施予定。

#### 1) DAAS インタビュー

- 建築家・研究者のオーラルアーカイブ・インタビュービデオを制作。
- 昨年度実施と同様に制作に関しては大学との連携も視野にいれる。
- 撮影対象者については、委員からの推薦等を頂きたい。
- 撮影に際し、委員の協力も要請出来るようであれば御願いしたい。

#### 2) VR(バーチャルリアリティー)を使った空間画像データの制作

- 可能であれば前年度実施した VR 制作も継続し、失われていく建物、景観等の収録を行う。

#### 3) その他 資料のデジタルデータ化及び Web 掲載

- デジタルデータ化が必要な資料の検討とリサーチを行い、DAAS コンテンツの拡充につとめる。

#### 4) Web サイトの機能改善

- 今回収録するデータの掲載に必要な Web 機能の改善をお子舞う。

実施のための費用は合計300万であるが、各項目の費用に着いては見積もり等により交渉し、割当を検討する。

目標成果:支出パターンを組み立て、それに必要な会費収入を算出する素材となること  
(年間経費で試算)

説明:青字セルは自動計算、数値増減検証する部分は「黄色セル」

## ■支出の部

### (1) DAAS-WEBサイト維持・公開必要経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
サーバ管理委託費	¥1,500,000	1	1	1	1	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000	サーバ維持・管理(OSセキュリティ対策)、トラブル対応、簡易な更新作業、高精細画像・保存資料の遠隔地保管	プロードワークス (Web管理全般) ワンビシアーカイブ(遠隔地保管)
保守費支出		1	1	1	1	¥0	¥0	¥0	¥0	第5期以降レンタルサーバ移行。企業の保守依頼をストップ。第6期NAS購入後支出なし。	
SSL認証経費	¥37,584	1	1	1	1	¥37,584	¥37,584	¥37,584	¥37,584	個人情報入力等に使用する、SSL認証証明書維持経費	GMOグローバルサイン株式会社
DAASドメイン経費	¥33,678	1	1	1	1	¥33,678	¥33,678	¥33,678	¥33,678	daas.jpというドメインを使用する権利/現在6ヶ月更新にて	お名前.com
デジマーク使用料	¥53,000	1	1	1	1	¥53,000	¥53,000	¥53,000	¥53,000	電子透かし技術の使用権利。写真提供著作者への配慮の為必須 US\$49.00/枚数制限有	Digimarc.com
						¥0	¥0	¥0	¥0		
						¥0	¥0	¥0	¥0		
						¥0	¥0	¥0	¥0		
小計(1)	¥1,624,262					¥1,624,262	¥1,624,262	¥1,624,262	¥1,624,262		

### (2) 事務局経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
事務所経費1	¥250,000	1				¥250,000	¥0	¥0	¥0	ちよだプラットフォームスクエア 契約料(2014年4月より)光熱費含め約20,000円/月	ちよだプラットフォームスクエア
事務所経費2	¥180,000	1				¥180,000	¥0	¥0	¥0	ソーシャルインキュベーションオフィス 契約料(2014年9月迄)約30,000円/月	(公財)東京都中小企業振興公社
会計士外部委託費	¥300,000	1				¥300,000	¥0	¥0	¥0	DAAS会計を別処理とする以上、必要経費 月額顧問料、年度末決算資料一式作成、及び、監査同行含む	
専任事務局人件費	¥3,360,000	1	1			¥3,360,000	¥3,360,000	¥0	¥0	直接人件費。法定福利費(雇用保険、健康保険、労災保険、厚生年金等) 第8期想定金額	
法定福利費	¥530,000	1	1			¥530,000	¥530,000	¥0	¥0		
事務局通勤交通費	¥200,000	1	1			¥200,000	¥200,000	¥0	¥0		
						¥0	¥0	¥0	¥0		
						¥0	¥0	¥0	¥0		
小計(2)	¥4,820,000					¥4,820,000	¥4,090,000	¥0	¥0		

### (3) 総会経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
会場借上げ費	¥105,000	1				¥105,000	¥0	¥0	¥0	ケータリング代、会場備品(マイク等含)	海運クラブ
茶菓子代						¥0	¥0	¥0	¥0	※コーヒー等会場費に含めて計算	
その他備品	¥15,000	1				¥15,000	¥0	¥0	¥0	レンタル機器	
文房具等費用	¥10,000	1				¥10,000	¥0	¥0	¥0		
印刷代	¥5,000	1				¥5,000	¥0	¥0	¥0	外部での印刷の場合	
小計(3)	¥135,000					¥135,000	¥0	¥0	¥0		

### (4) 運営委員会経費(必須経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
会場借上げ費	¥60,000	1				¥60,000	¥0	¥0	¥0	6,000*10回(委員会4回、WG等開催6回想定)	
茶菓子代	¥22,500	1				¥22,500	¥0	¥0	¥0	ペットボトル水×15本*10	
文房具等費用	¥10,000	1				¥10,000	¥0	¥0	¥0		
印刷代	¥50,000	1				¥5,000	¥0	¥0	¥0	外部での印刷の場合	
						¥0	¥0	¥0	¥0		
小計(4)	¥142,500					¥97,500	¥0	¥0	¥0		

### (5) 各団体受賞作品収蔵・公開経費(選択経費)

費目	金額	A	B	C	D	Aの小計	Bの小計	Cの小計	Dの小計	内訳等	支出先
日本建築学会賞	¥4,000		1	1		¥0	¥0	¥4,000	¥4,000	1回あたりの収蔵作業基準経費(2時間/人/上限50点) + $\alpha$	派遣先
日事連建築賞	¥4,000		1	1		¥0	¥0	¥4,000	¥4,000	1回あたりの収蔵作業基準経費(2時間/人/上限50点) + $\alpha$	
JIA各賞(毎年100点越、130点で計算)	¥7,000		1	1		¥0	¥0	¥7,000	¥7,000	1回あたりの収蔵作業基準経費(3.5時間/人/上限100点) + $\alpha$	
日本建築士会連合会賞	¥3,000		1	1		¥0	¥0	¥3,000	¥3,000	1回あたりの収蔵作業基準経費(1.5時間/人/上限30点) + $\alpha$	
小計(5)	¥18,000					¥0	¥0	¥18,000	¥18,000		

ABCD各パターン支出計 ¥6,676,762 ¥5,714,262 ¥1,642,262 ¥1,642,262

## ■必要収入検討の部(会費設定シミュレート)

### (1)現行会費単価、会員数から計算される会費収入(現状把握)

会員種別	現行単価	数	小計	
企業 51人以上	¥360,000	12	→ ¥4,320,000	日本設計は仮置きでこちらにカウント
企業 11~50人	¥120,000	1	→ ¥120,000	日建学院
企業 10人以下	¥60,000		→ ¥0	
企業理事 51人以上	¥720,000	2	→ ¥1,440,000	日建設計、大和ハウス(日本設計は未納、日建設計は減口希望あり)
企業理事 11~50人	¥240,000	0	→ ¥0	新建築が未納
企業理事 10人以下	¥120,000		→ ¥0	
団体	¥200,000	10	→ ¥2,000,000	
学術・教育	¥30,000	1	→ ¥30,000	建築学会
個人	¥20,000	0	→ ¥0	
SUM			¥7,910,000	(ほぼ現状ベース)

### (2)会費単価を変数とした会費収入シミュレート(赤字セルは自動計算)

会員種別	単価	I	II	III	IV	Iの小計	IIの小計	IIIの小計	IVの小計
企業 51人以上	¥360,000	12				→ ¥4,320,000			
	¥240,000		12				→ ¥2,880,000		
	¥180,000			12				→ ¥2,160,000	
	¥120,000				12				→ ¥1,440,000
企業 11~50人	¥120,000	1				→ ¥120,000			
	¥100,000		1				→ ¥100,000		
	¥80,000			1				→ ¥80,000	
	¥60,000				1				→ ¥60,000
企業 10人以下	¥60,000	0				→ ¥0			
	¥40,000		0				→ ¥0		
	¥30,000			0				→ ¥0	
	¥20,000				0				→ ¥0
企業理事 51人以上 × 2	¥720,000	2				→ ¥1,440,000			
	¥480,000		2				→ ¥960,000		
	¥360,000			2				→ ¥720,000	
	¥240,000				2				→ ¥480,000
企業理事 11~50人 × 2	¥240,000	0				→ ¥0			
	¥200,000		0				→ ¥0		
	¥160,000			0				→ ¥0	
	¥120,000				0				→ ¥0
企業理事 10人以下 × 2	¥120,000	0				→ ¥0			
	¥80,000		0				→ ¥0		
	¥60,000			0				→ ¥0	
	¥40,000				0				→ ¥0
団体	¥200,000	10				→ ¥2,000,000			
	¥180,000		10				→ ¥1,800,000		
	¥144,000			10				→ ¥1,440,000	
	¥120,000				10				→ ¥1,200,000
学術・教育	¥30,000	1	1	1	1	→ ¥30,000	→ ¥30,000	→ ¥30,000	→ ¥30,000
個人	¥20,000	0	0	0	0	→ ¥0	→ ¥0	→ ¥0	→ ¥0
SUM			→ ¥7,910,000	→ ¥5,770,000	→ ¥4,430,000	→ ¥3,210,000			
		収入 I	収入 II	収入 III	収入 IV				

再掲)支出	支出A	支出B	支出C	支出D	
ABCD各パターン支出計	¥6,676,762	¥5,714,262	¥1,642,262	¥1,642,262	←支出パターンの検討結果より
	↓	↓	↓	↓	
收支差(収入 I の場合)	¥1,233,238	¥2,195,738	¥6,267,738	¥6,267,738	←自動計算の結果、マイナスは赤字表示
收支差(収入 II の場合)	¥-906,762	¥55,738	¥4,127,738	¥4,127,738	
收支差(収入 III の場合)	¥-2,246,762	¥-1,284,262	¥2,787,738	¥2,787,738	
收支差(収入 IV の場合)	¥-3,466,762	¥-2,504,262	¥1,567,738	¥1,567,738	

### パターンごとのシナリオ設定(例として)

A	(1)から(4)の必須項目、選択項目を全て含める。(5)の業務は専任事務員が行う※現状との差はコンテンツ制作をしない(補助金がある場合のみ新規コンテンツ制作を行う) →補助金の支援を含めれば現状と同様のコンテンツ制作も可能
B	Aと比較して(2)の事務所経費と会計士外部委託費、及び(3)(4)の総会及び運営委員会会議費用を削減した場合 →方法として、会計支援及び、会議費用支援を他団体に協力を依頼する必要あり
C	Bに加えて、専任事務局員人件費を削減した場合 →全ての事務業務等業務の他団体への支援が得られる、もしくは人件費の支援が可能な場合 ※ただし事務員クラスの人件費のまま他団体の負担となるとは限らない
D	(1)のサーバー維持、(5)の表彰事業の収蔵業務のみ行う場合 →全ての事務業務等業務の他団体への支援が得られる場合(5)の表彰事業は外部委託※最小限の費用:事務派遣等で負担した場合